

く ぼ て こ く つ 求 菩 提 五 窟

求菩提山8合目の東南面に「大日窟」「普賢窟」
「多聞窟」「吉祥窟」「阿弥陀窟」の5つの浅い洞窟があり、
それをまとめて「五窟」と呼んでいます。窟は修行の場
であり、お経を納める場でもありました。

だ い に ち く つ 大 日 窟

平安時代（今から900年くらい前）につくられた大日如来像が安置されていました。



大日如来像

太陽をあらわしてお
り、修験道では最高の
仏様です。
現在は求菩提資料館
で展示されています。

ふ げん く つ 普 賢 窟

1142年（平安時代の終わりごろ）に作られた「銅板法
華経」33枚は、銅筥に入れられて、この窟に納められて
いました。

耳をすますと岩の割れ目の
奥から「ボン、ボン」と
いう音が聞こえるよ。
これは「梵音」と呼ばれ、
仏の声だといわれているよ。



銅板法華経・銅筥

薄い銅の板にお経が彫られ
たもので、1527年（室町時代）
に発見されました。大変貴重
なもので、国宝に指定されて
います。



「じろう」